

メールアドレス流出についてお詫びとご報告

本学で実施している「教員免許状更新講習」において、受講者への時間変更の連絡を電子メールで送信した際に、同報者にメールアドレスが表示される形で一斉送信してしまったことが判明しました。

関係者の皆さまには、多大なるご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

このような事態を招いたことを深く反省し、今後は、個人情報の保護に関する職員への指導を徹底し、再発防止に努めてまいります。

1. 事案の概要

(1) 平成30年7月31日(火) 19時39分頃 185人にメール送信

本来であれば「BCC」で送信すべきところ、メールアドレスが他の送信相手にも表示される「TO」で送信してしまいました。

(2) 平成30年8月1日(水) 12時31分以降

(1)で送信した受講者に対して、「お詫びと削除依頼」のメールの送信及び講習会場において口頭でお詫びと削除依頼を行いました。

2. 流出した情報

平成30年度教員免許状更新講習における一部の科目受講者185人分のメールアドレス

3. 今後の対応

教職員に対して、個人情報の取扱いについて、リスクの認識を徹底させるとともに、複数の相手先へのメール送信時には、複数名が確認を行う等により、再発防止に努めます。

山形大学理事・副学長
阿部宏慈